

令和6年2月1日

苫小牧市長 岩倉 博文様

北光ドッグランの再開を求める会

北光町未来の森公園「ドッグラン」閉鎖にかかわる早期再開と効率運営を求める要望書

苫小牧市が運営する「北光町未来の森公園」内に設置されております「ドッグラン」について、本市では、唯一公設であるが故に、市民へ無料で開放されており、動物との共生社会に寄与することはもちろんのこと、日頃からの整備等の充実についても、格段のご配慮を賜り、利用者として、非常に敬意を表すものであります。

2023年12月18日より、北光町未来の森公園「ドッグラン」におきまして、利用者マナーの著しい低下により、当面の間、閉鎖されることとされ、閉鎖告知後より、利用者間では動揺が広がり、今後の運営と利用を心配する声を愛犬家の間で共有することになりました。

また、突然の閉鎖告知に留まらず、再開時期やその後の対応策などの情報が無く、「当面の間閉鎖」という苫小牧市のご決断は、私たち愛犬家をはじめ、犬たちからもともと数少ない唯一の行き場を遮断するという「閉鎖まで一定期間」の周知が不足しているように思えてなりません。

苫小牧市の人口比率からいっても、犬を飼育している市民は、ほんの一握りと推測をしますが、苫小牧市の施策として、動物との共生社会に資する「飼育ガイドライン」の策定も行われている現状、市民の中には、全国的な動物保護活動や保護犬を家族として受け入れてられている方々も居住され、動物と市民の触れ合える最適な場所として、このドッグランは、犬や飼い主の心の拠りどころとしての存在意義が高いことは明らかであり、効率的な運営への早期対応を求めるところであります。

このことを踏まえ、北光ドッグランの再開を求める会は、市内外で賛同する方々の署名を添えて、下記の通り、要望致します。

記

1. 行政として、更なるマナー改善へ導いて頂けるよう「システム・ガイドライン」の導入を検討していただきたい事や無料で開放して頂いていることから、利用する際、市内外からの利用者にも配慮し、率先して、マナー遵守に努めたいと思いますことから、ドッグランにおける早期の閉鎖解除並びに、再開を強く求めます。

以 上